



大宮盆栽の魅力を世界へ!!

さいたま市観光国際課 漆山 花子

大宮盆栽の
インバウンドプロモーションについて

さいたま市北区には、「大宮盆栽村」という盆栽園が集まる地域があり、盆栽の聖地として世界中からたくさんのファンが訪れます。また、「大宮盆栽」は盆栽の最上級ブランドとして知られ、さいたま市の伝統産業にも認定されています。

さいたま市では、大宮盆栽の魅力を海外の方にも発信するため、2021年からインバウンドプロモーションを開始しました。2021年にはクレアの経済活動助成事業の助成金を活用させていただいたことで、都内や、大宮駅から新幹線でつながる観光都市などをはじめ、多くの場所でプロモーションを実施することができ、コロナ禍においても外国人だけでなく、日本人にも盆栽の魅力を伝えることができました。

2022年度の取り組み

そこで、2022年度のさいたま市の取り組みについて詳しく紹介したいと思います。

①金沢市

2015年3月に北陸新幹線が開通し、大宮駅からアクセスしやすくなったことも踏まえ、多くの観光客が訪れる石川県金沢市において、11月18日から23日までの6日間、大宮盆栽のプロモーションを実施しました。

まず、JR金沢駅のコンコースにおいて、大宮盆栽の展示、販売を実施しました。新幹線からの出口が1か所になっており、たくさんの観光客の方々が溢れる場所でプロモーションを実施したことで、用意したパンフレットの在庫がなくなるほどの盛況ぶりでした。



金沢駅コンコースでの展示

また、同期間に外資系ホテル「ハイアット セントリック 金沢」でもプロモーションを行い、1階入口・3階ロビーに盆栽を設置するほか、ホテルのルーフトップバーにも盆栽を展示し、地元のクラフトジンとのコラボレーションも実施することができました。このコラボレーションによって、普段盆栽と関わりがない方でも、お酒や食事をしながら盆栽を楽しむことができ、盆栽の新しい楽しみ方を提供することができたのではないかと思います。

その他にも、「ハイアット ハウス 金沢」において、在住外国人にも参加いただき、盆栽作り体験ワークショップを開催しました。2日間の開催で、合計38名の方に参加していただきましたが、アンケートでは多くの方に「満足した」と好評をいただくことができました。



ハイアット ハウス 金沢でのワークショップの様子

②ザ・リッツ・カールトン東京

2023年1月からは、外資系ホテル「ザ・リッツ・カールトン東京」において、3週間にわたり大宮盆栽を展示しました。

当該ホテルのコンセプトが「East Meets West（東洋と西洋の融合）」であり、洋風な空間の中に、和の盆栽を展示することで、いい意味での「違和感」を演出でき、期間中の宿泊者の約9割近くが外国人宿泊者でしたが、大変好評をいただくことができました。



45 階ロビーでの展示

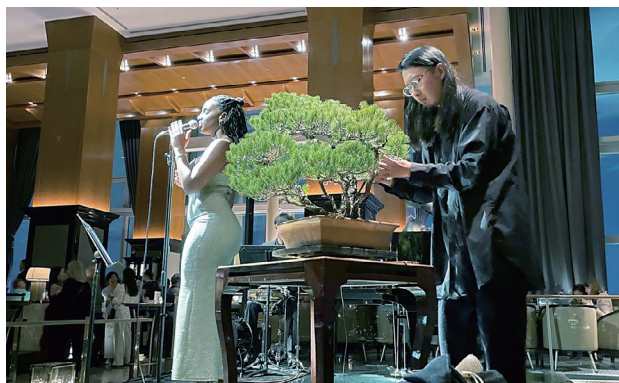
また、盆栽の展示期間に合わせて、コラボレーションしたアフタヌーンティーの提供も実現し、特に多くの女性の方々にも

盆栽の素晴らしさを伝えることができ、SNS などの発信もたくさんしていただけたかったです。



東洋と西洋の融合をテーマにしたアフタヌーンティー

さらに、期間中には宿泊者向けの盆栽作り体験ワークショップを開催したほか、盆栽の剪定や針金掛けなどの実技を実施するデモンストレーションをロビーラウンジにて音楽の演奏に合わせ実施しました。ラグジュアリーな空間で、音楽に合わせて盆栽のデモンストレーションを実施することは、担当した盆栽師にとっても初めての体験でしたが、多くの方に喜んでいただき、盆栽の新たな魅力を発信する良い機会となりました。



デモンストレーションの様子

また、こうしたラグジュアリーホテルとのコラボレーションをさせていただいたことは、大宮盆栽のブランド力の向上にもつながったと感じております。

③羽田空港第3ターミナル

2022 年度最後のプロモーションとして、2 月 23 日から 26 日まで、羽田空港第3ターミナル（国際線）において、大宮盆栽村から樹齢約 120 年の盆栽を展示しました。

入国制限緩和を受け訪日観光客が増えている中、到着口を出てすぐにある、観光情報センターで盆栽の展示を行うことで、多くの訪日観光客が立ち止まり、写真を撮る様子が見られました。中には盆栽の樹齢や大きさに驚く人や、配布された大宮盆栽のパンフレットを手に「滞在中に絶対訪問する」と話す人もいました。



観光情報センターでの展示

2022 年度の活動を振り返って

入国制限緩和を受け、多くの訪日観光客が来ていることを実感しましたが、特に外国人観光客が訪問する場所を選び、盆栽のプロモーションを実施したことで、SNS や各社新聞などで取り上げられ、多くの反響をいただきました。また、同時にこれまで盆栽に触れたことがない、日本人観光客の方や、在住外国人の方にもワークショップなどを通じて好評をいただくことができたと感じております。

これからの大宮盆栽のインバウンド事業について

2025 年に大宮盆栽村は開村 100 周年を迎えます。「Bonsai」として、盆栽が世界共通の文化となりつつある今、素晴らしい技で「大宮盆栽」を世に知らしめた先人たちに感謝するとともに、盆栽を次の世代へと継承していくため、大宮盆栽の魅力を外国人の方々にも発信し、世界中から大宮盆栽村を訪れたいと思ってもらえるよう、引き続きプロモーションを続けていきたいと思います。